

# 川田テクノロジーズ株式会社 2022年3月期 決算補足説明資料

証券コード：3443

2022年5月12日

## おかげさまで川田グループは2022年5月に 創業100周年を迎えました



刀鍛冶から始まった川田グループは、過去も、現在も、そして未来も、  
人々のために持てる技術を活用し、  
さらなる「安心で快適な生活環境の創造」を進めてまいります

<https://anniversary.kawada.jp>



- ① 2022年3月期業績
- ② 2023年3月期見込
- ③ 利益還元
- ④ 第2次中期経営計画

# ① 2022年3月期の業績

22/3期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等が適用されています。

これからご説明する業績や受注の金額については、この会計基準等を適用した後の金額となっております。

前期比の数値を算出するにあたり、21/3期の金額を補正する必要があります。

今回の説明資料ではこの補正を行っておりません。

ご注意をお願いします。

# 22/3期の業績 (サマリー)

(百万円)	21/3期	22/3期	
	実績	実績	前期比
売上高	115,545	103,760	▲10.2%
売上原価	100,102	86,950	▲13.1%
売上総利益	15,442	16,809	8.9%
販管費	9,876	10,396	5.3%
営業利益	5,565	6,412	15.2%
経常利益	8,048	7,689	▲4.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,340	5,176	▲18.4%

2期連続で  
売上減・当期純利益減

しかし  
売上総利益と  
営業利益は増加

# 売上高と営業利益（セグメント別）

		(百万円)	21/3期		22/3期	
セグメント			実績	実績	前期比	
売上高	鉄構		61,287	50,033	▲18.4%	
	土木		34,625	33,037	▲4.6%	
	建築		10,647	9,607	▲9.8%	
	ソリューション		4,760	5,603	17.7%	
	その他		6,973	7,159	2.7%	
営業利益	鉄構		4,406	5,425	23.1%	
	土木		2,524	2,380	▲5.7%	
	建築		648	56	▲91.3%	
	ソリューション		749	1,252	67.2%	
	その他		▲317	▲297	-	

■鉄構・土木は  
依然として中核事業

■建築は低迷

■ソリューションは  
売上・利益が拡大中

※セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

# 受注実績と繰越高 (セグメント別)

		(百万円)	21/3期	22/3期	前期比
受注実績	鉄構		65,193	59,006	▲9.5%
	土木		31,315	31,405	0.3%
	建築		10,390	15,715	51.2%
	ソリューション		5,119	6,276	22.6%
	その他		6,959	7,181	3.2%
繰越高	鉄構		72,416	77,869	7.5%
	土木		48,855	47,256	▲3.3%
	建築		11,857	17,965	51.5%
	ソリューション		1,075	2,734	154.3%
	その他		487	508	4.3%

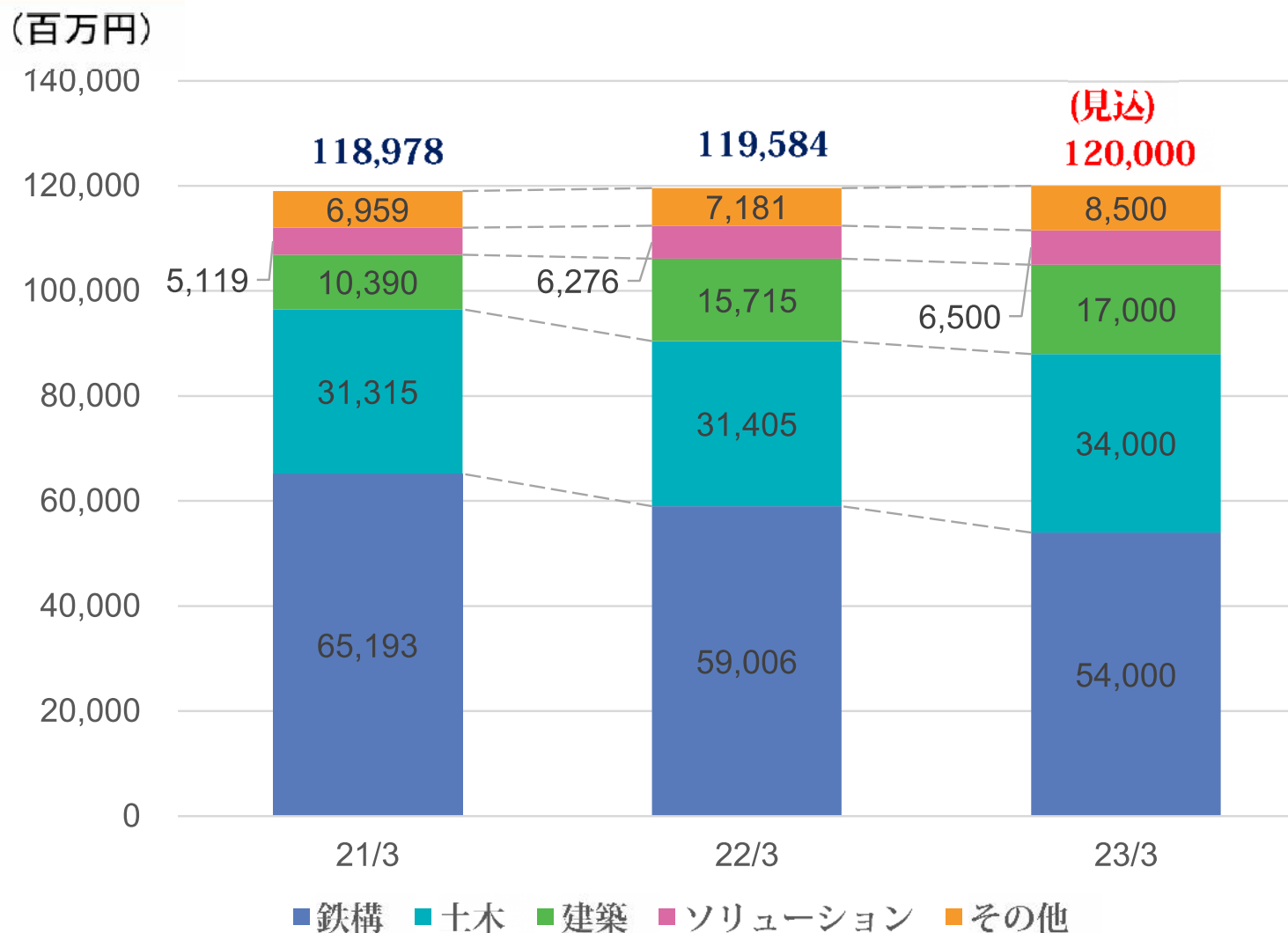
- 鉄構は  
繰越高は上昇傾向
- 土木は  
繰越高は高水準維持
- 建築は  
受注に復調の兆し
- ソリューションは  
着実に受注高伸長

※セグメント間の取引については、相殺消去しておりません。

# ②2023年3月期の見込



# 受注高の推移（セグメント別）



政府建設投資は堅調に推移すると予測

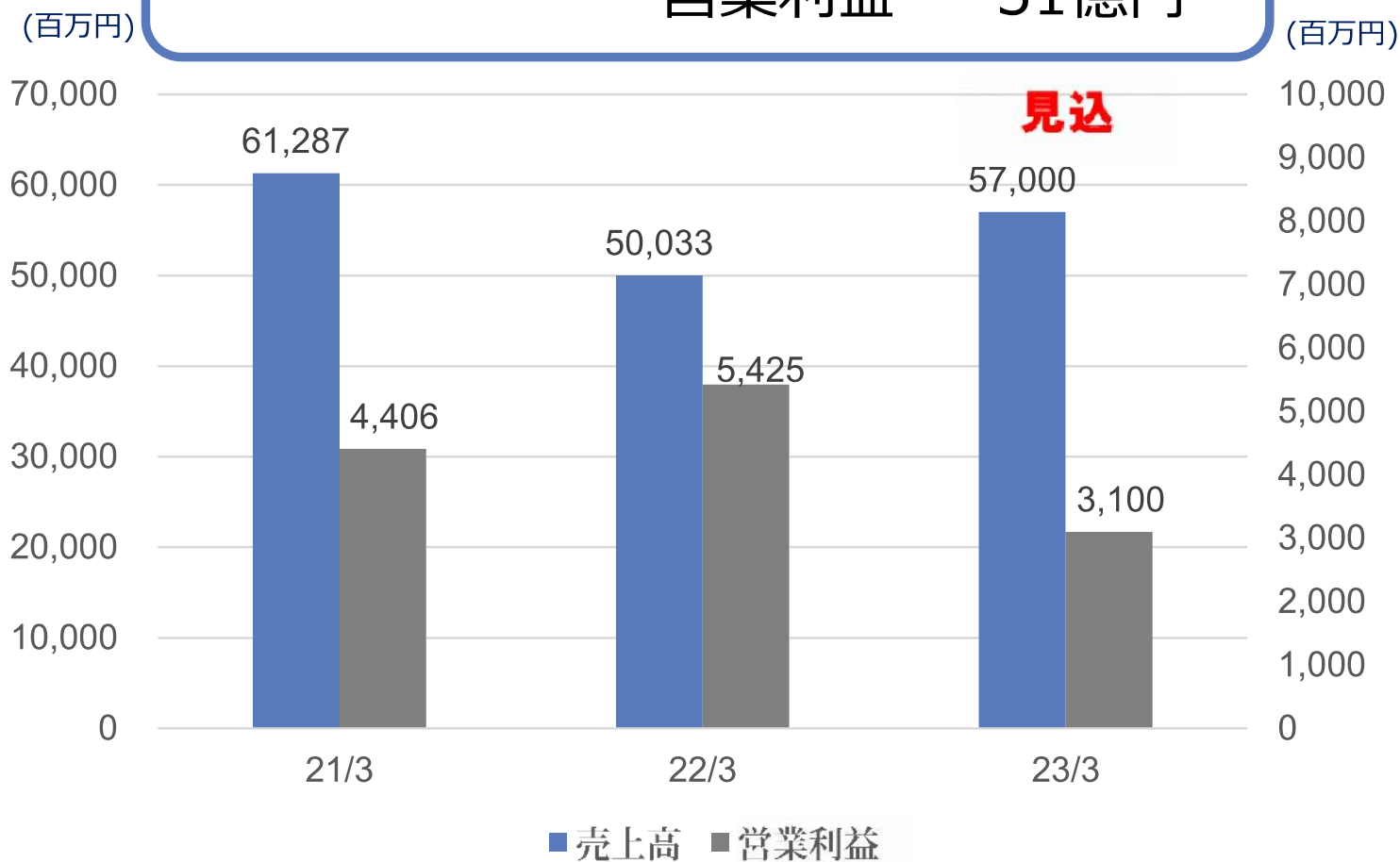
民間建設投資も堅調に推移するとみられるが、サプライチェーン混乱や資源高などによる変調を懸念

受注に際し  
調達・納期・コスト注視  
採算管理の重要性が増加

※セグメント間の取引については、相殺消去しておりません。

# 売上高と営業利益（鉄構セグメント）

23/3期の見込 売上高 570億円  
営業利益 31億円



## ■ 増収見込み

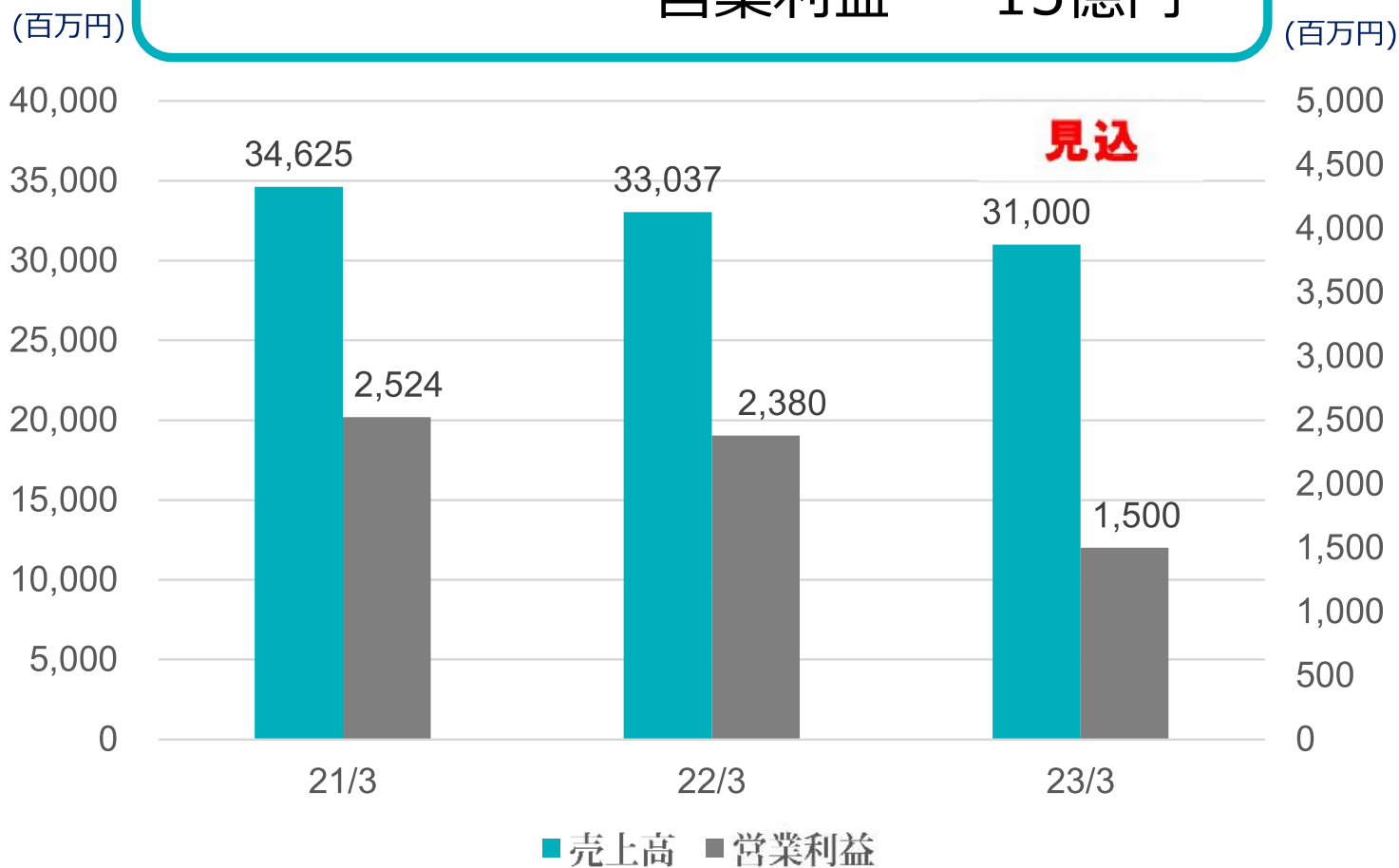
橋梁事業における  
期首繰越高の増加と  
その順調な進捗

## ■ 減益見込み

橋梁事業において  
設計変更交渉未了  
工事の増加

# 売上高と営業利益（土木セグメント）

23/3期の見込 売上高 310億円  
営業利益 15億円



## ■ 減収見込み

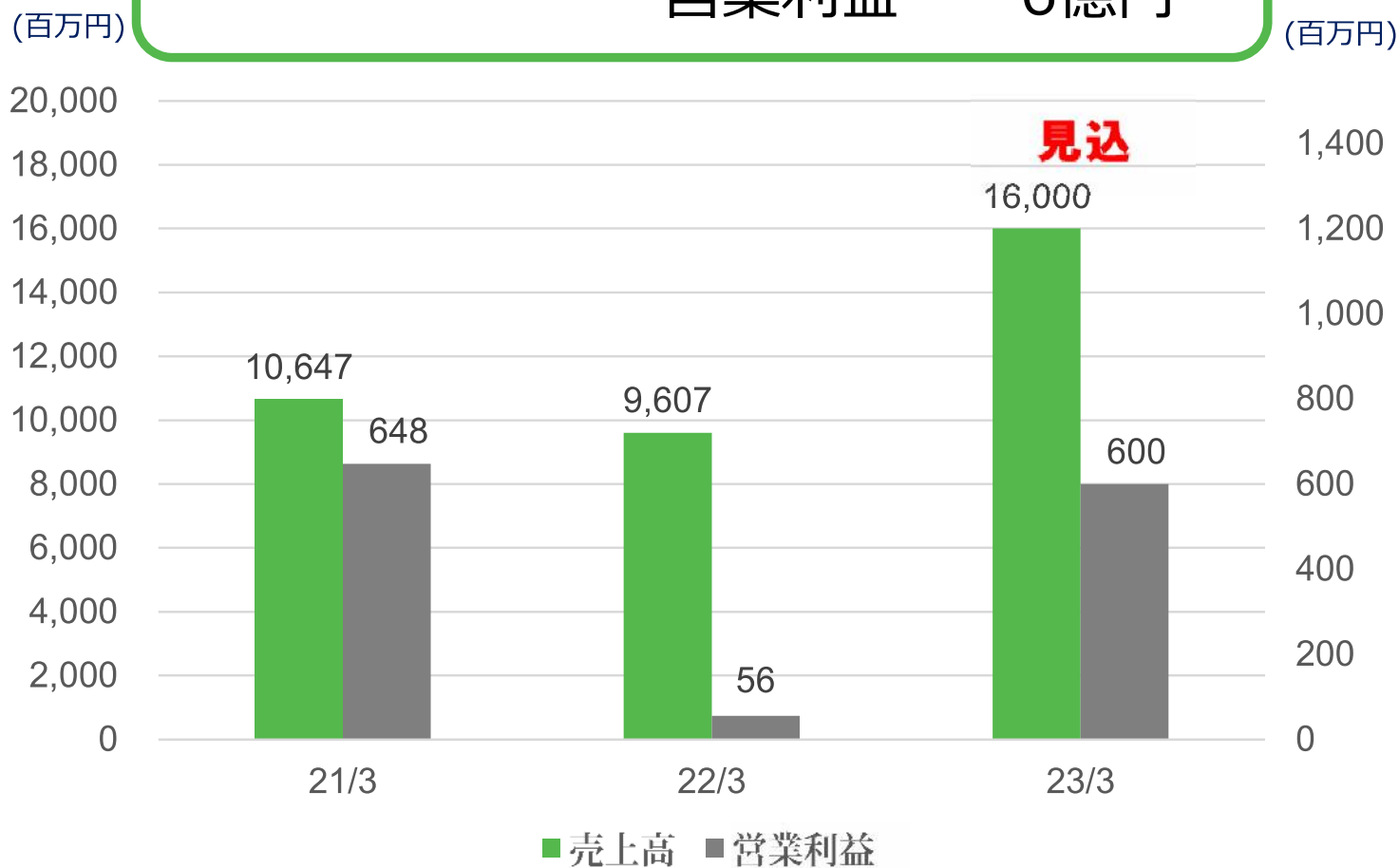
期首繰越高の減少

## ■ 減益見込み

床版取替工事や  
保全工事において  
設計変更交渉未了の  
大型・長期工事あり

# 売上高と営業利益（建築セグメント）

23/3期の見込 売上高 160億円  
営業利益 6億円



## ■ 増収見込み

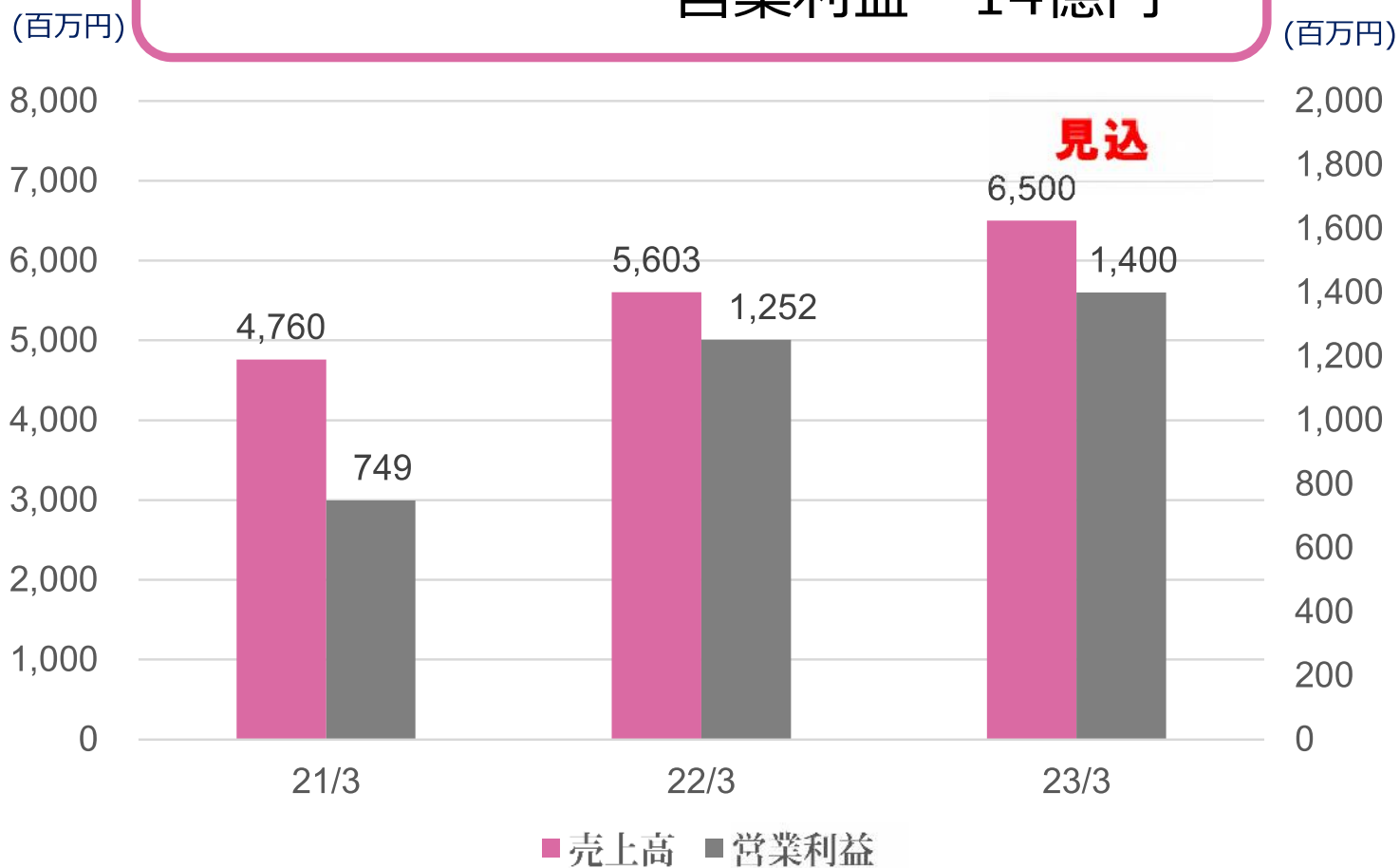
期首繰越高の増加と  
その順調な進捗

## ■ 増益見込み

増収に伴う  
利益の上積み

# 売上高と営業利益 (ソリューションセグメント)

23/3期の見込 売上高 65億円  
営業利益 14億円



## ■ 増収見込み

- ・ ソフトウェア関連  
提案型ビジネス展開
- ・ ロボット関連  
新機種ヒト型協働  
ロボット市場投入

## ■ 増益見込み

増収に伴う  
利益の上積み

# 売上高と営業利益（その他）

23/3期の見込 売上高 80億円  
営業利益 0億円



## ■ 増収見込み

航空事業における  
新型コロナの影響  
弱まり旅客数回復

## ■ 増益見込み

増収に伴い  
収益性改善

# 23/3期の見込

(百万円)	22/3期	23/3期	
	実績	見込	前期比
売上高	103,760	116,000	11.8%
売上原価	86,950	101,000	16.2%
売上総利益	16,809	15,000	▲10.8%
販管費	10,396	11,000	5.8%
営業利益	6,412	4,000	▲37.6%
経常利益	7,689	4,600	▲40.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,176	2,800	▲45.9%

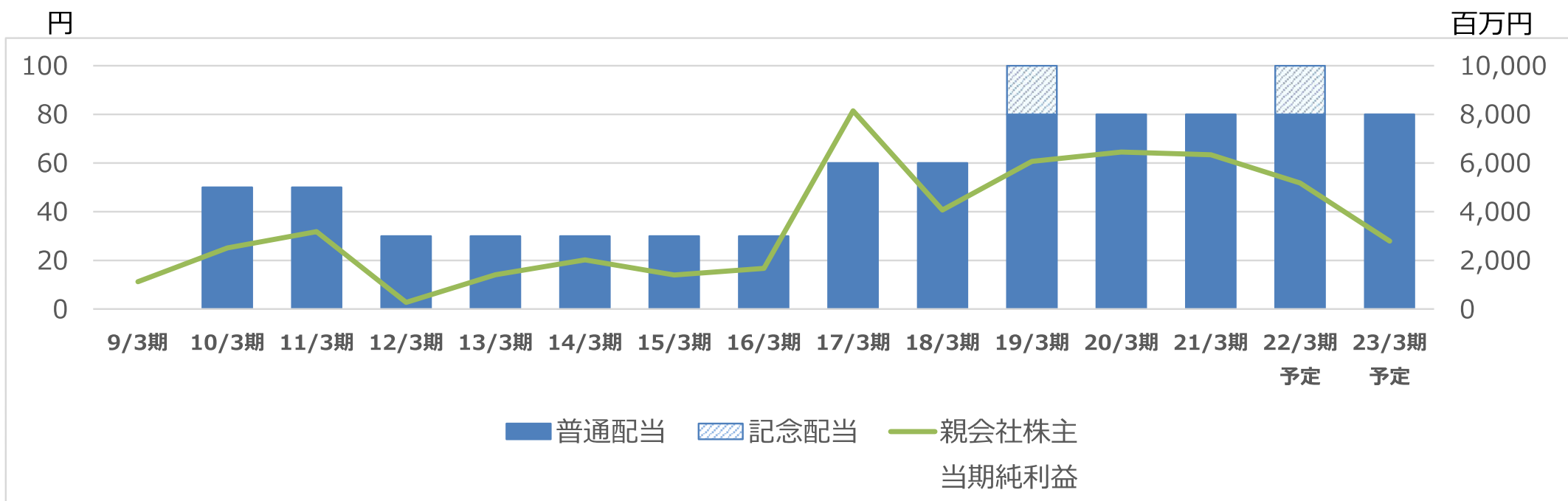
新型コロナリスク  
インフレリスク  
自然災害リスクなど  
非常に不透明で  
厳しい事業環境を予想

このような中  
売上は3期ぶりに増加  
当期純利益3期連続減少  
の見込み

今後は  
採算性の改善に鋭意努力

# ③利益還元





**22年3月期末配当（予定）普通株式1株あたり100円 総額591百万円**

当社グループの財務の健全性維持と成長投資に備えた内部留保とのバランスを考慮しつつ、株主の皆様には安定した配当が行えるよう企業努力を続けてまいります。

## 理由

機動的な資本政策の一環として  
～株主還元の強化と還元策の多様化～

## 取得内容

- ・株式総数 普通株式50,000株（上限）
- ・取得価額総額 2億円（上限）
- ・取得期間 2022年5月13日～2023年2月28日

（ご参考）2022年3月31日時点

発行済株式総数（自己株式除く）	5,912,208株
自己株式	3,662株

# ④第2次中期経営計画

# 目標数値の達成見込み

(億円)	目標	21/3期 1年目	22/3期 2年目	23/3期 3年目	3年平均
		実績	実績	見込	見込
売上高	1,160	1,155	1,037	1,160	1,117
営業利益 (営業利益率)	42 (3.6%)	55 (4.8%)	64 (6.2%)	40 (3.4%)	53 (4.7%)
自己資本 比率	46.0% 以上	44.80%	53.2%	46.0% 以上	—

※売上高、営業利益（率）の目標値は3年平均

営業利益と自己資本比率は達成が可能であると考えています。  
売上高は、手持工事の順調な進捗に努めることや早時の新規受注そして設計変更の獲得などにより、目標達成を目指してまいります。

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断または考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、業界の市場動向、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

～お問合せ先～

川田テクノロジーズ株式会社 経営管理部 [ir.kti@kawada.jp](mailto:ir.kti@kawada.jp)